
エコアクション21

環境経営レポート

運用期間 第52期 2020年10月1日 ~ 2021年9月30日



GOSUI

発行年月日 2021年11月19日

株式会社 吾水総合コンサルタント



目次

〈PLAN〉

- 1. 組織の概要 1 ページ
- 2. 環境経営方針 3 ページ
- 3. 当年度及び中長期環境経営目標 4 ページ
- 4. 環境経営計画 5 ページ

〈DO〉

- 5. 実施体制表と役割分担表 6 ページ
- 6. 環境活動状況
 - 6-1. 社内の環境活動状況 7 ページ
 - 6-2. 地域の環境活動状況 12 ページ

〈CHECK〉

- 7. 環境関連法規などの遵守状況 14 ページ
- 8. 環境活動の実績(環境経営目標の達成状況) 15 ページ
- 9. 環境活動の取組結果・評価 16 ページ
- 10. 次年度の環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画
 - 10-1. 次年度の環境経営方針 20 ページ
 - 10-2. 次年度及び中長期環境経営目標 21 ページ
 - 10-3. 次年度の環境経営計画 22 ページ

〈ACT〉

- 11. 代表者による全体の評価と見直し・指示 23 ページ

1. 組織の概要

事業所名	カブシキカイシャ コススイコウ 株式会社 吾水総合コンサルタント		
代表者名	代表取締役社長 島 健二		
所在地	・本社	〒806-0065	福岡県北九州市八幡西区養福寺町7-9 TEL：093-621-3366
	・福岡支店	〒812-0008	福岡県福岡市博多区東光2丁目8-17 TEL：092-433-9400
	・佐賀事務所	〒849-0937	佐賀県佐賀市鍋島2丁目18-10 TEL：0952-31-3641
	・熊本事務所	〒861-4113	熊本県熊本市南区八幡5丁目10-1 TEL：096-320-5880
	・下関事務所	〒759-6301	山口県下関市豊浦町大字川棚6879-1 TEL：083-242-2300
環境責任者および担当者連絡先			
	・環境責任者	山末 隆夫	TEL 093-621-3366
	・担当者	浅野 真佐美	FAX 093-621-5110
			Mail m-asano@gosui.co.jp
事業規模	・設立年月日	1970年9月22日	
	・資本金	2500万円	
	・従業員数	24名（男19、女5）	
	・事業年度	10月1日～翌年9月30日	
登録	・建設コンサルタント	第01-1513号（令和元年10月）	
	・補償コンサルタント	補02第2848号(令和2年11月)	
	・測量業者	第12-3847号(平成30年4月)	
	・一級建築士事務所	第1-20460号（平成29年4月）	
認証登録範囲			
	・登録対象事務所	本社、福岡支店、佐賀事務所、熊本事務所、下関事務所	
	・活動	全組織、全活動を対象とする	
事業内容	・土木設計業	道路・橋梁・河川・上下水道	
	・測量業	測量業務全般	
	・一級建築士事務所	建築設計全般	



株式会社 吾水総合コンサルタント

株式会社 吾水総合コンサルタントは、土木・建築・測量等総合建設コンサルタントとして、社会資本整備(公共事業における調査・計画・設計)を行っている会社です。

土木設計

- 道路構造物
- 橋梁点検, 補修設計
- 河川護岸
- 上水道
- 下水道

測量調査

- 地上測量全般及び各種台帳作成
- 家屋調査

建築設計

- 一般建築全般

入札

•委託を受けたら、担当者から設計仕様書を受領し、業務の内容を把握して業務計画書を作成します。

調査・設計

- 現地の状況・環境に見合った設計が必要とされます。
- 委託を受けたらまず現地へ赴きその土地の特性を十分に調査します。どの現場もそれぞれ条件が違うので全て基準書通りには行きません。
- 基準書に当てはまらない場合はより良い計画を提案します。

成果納品

•設計仕様書に記載されている業務を全て遂行したらその業務で行った全ての調査・設計内容をまとめ照査を行い、製本して委託者に納めます。

当社は、工事に必要な設計図書(設計図面・各種計算書等)を作成します。
最適の技術で客先の信頼と満足を得る品質を提供しています。

2. 環境経営方針

環境経営理念

社会・環境貢献活動に積極的に取り組み、環境に与える影響を低減し、
自然環境との共存を計れるよう活動します。

環境経営方針

重点事項について環境目標・計画を策定するとともにこれらを見直して
環境経営システムの継続的改善を図ります。

- 二酸化炭素排出量の削減に努める。
 - ・ 電力使用量の削減を行う
 - ・ 化石燃料(ガソリン)使用量の削減を行う
- 水使用量の削減に努める。
- 一般廃棄物の削減・再利用・再資源化に努める。
- 設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手し、
技術向上に努める。
- 環境関連法規を遵守する。
- 地域の環境活動に積極的に参加する。
- 環境への取り組みを全社員に周知すると共に、広く公開する。

改定日：2018年 8月 1日
株式会社 吾水総合コンサルタント
代表取締役

鳥 健 二

3. 当年度及び中長期環境経営目標

環境目標	単位	基準年度	当年度	中 期			
		45 期 2013/10～ 2014/9	52期 2020/10～ 2021/9	53 期 2021/10～ 2022/9	54 期 2022/10～ 2023/9	55 期 2023/10～ 2024/9	
		—	(△7%)	(△8%)	(△9%)	(△10%)	
削減 目標	二酸化炭素排出量	kg-CO2	50,070	46,565	46,064	45,564	45,063
	電力使用量	kwh	27,437	25,516	25,242	24,968	24,693
	ガソリン使用量	L	14,285	13,285	13,142	12,999	12,857
	灯油購入量	L	—	※1 —	—	—	—
	水使用量	m3	188	245以下	245以下	245以下	245以下
	一般廃棄物排出量	kg	474	500以下	500以下	500以下	500以下
プ ラ ス 目 標	設計における 環境配慮	—	環境効果の高い資材や工法の情報収集のための研修・講習に積極的に参加する。				
	会社周辺の清掃	1回/月	月に1回、社屋の周辺清掃を行う。				
	地域活動への参加	—	海辺の清掃や植樹など、地域活動に参加する。				

※ 事業年度：10月1日～翌年9月30日

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2013年度 調整後排出係数0.617kg-CO2/kWhを用いた。

※1 灯油使用量に関しては、運用管理しているため、目標はたてないこととする。

4. 環境経営計画

環境経営計画

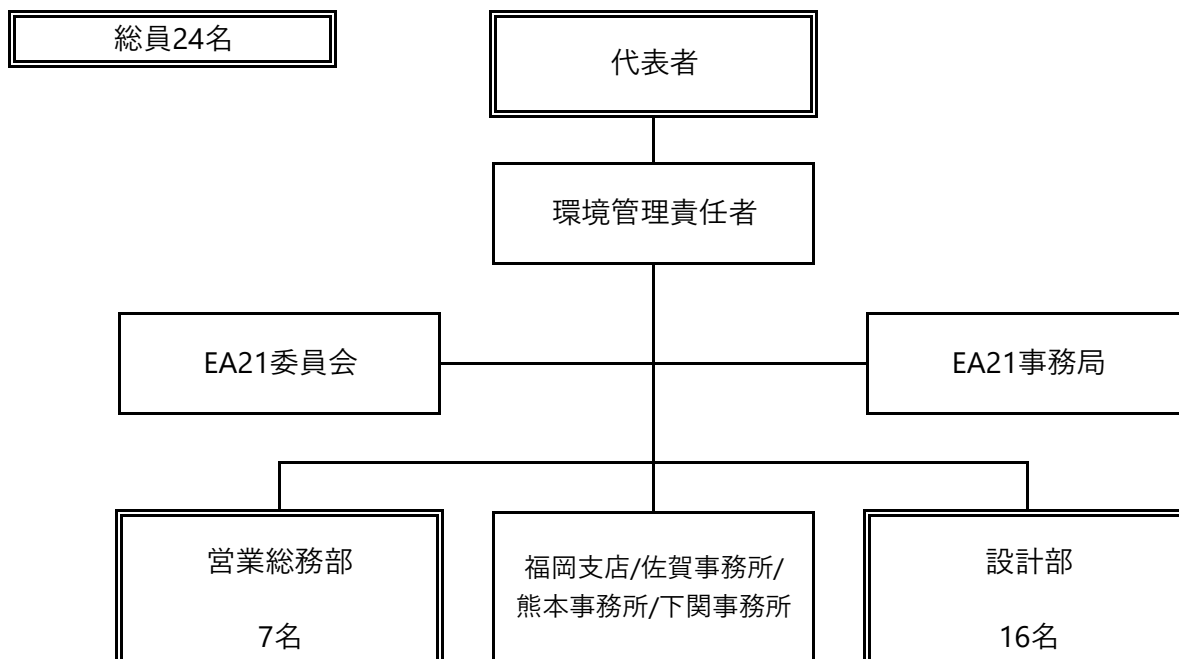
取組目標		活動内容	定期的な評価(上半期/全期間)				担当
			活動計画				
			10~12	1~3	4~6	7~9	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	エアコン設定温度		エアコン使用時 常時実行			児島
		扇風機・サーキュレーターの活用による冷暖房の効率化					
		LED照明への随時取り替え		随時導入			
		不要な照明の消灯					
		不要電力消費抑制 (未使用時のプリンター、外出時のPC)		通年実行			
		クールビズ・ウォームビズの励行					
ガソリン使用量	エコドライブの励行 ・アイドリングストップ ・急発進、急停車の防止等 ・ルート・配車計画の合理化 ・タイヤの空気圧チェック			通年実行			岩熊
		エコカーへの随時入れ替え		随時導入			
		定期的な安全点検		通年実行			
水使用量の削減	水を流したままにしない 節水型便器の設置			通年実行			増田
				随時導入			
一般廃棄物排出量の削減	電子機械の利用によるペーパーレス化 裏紙利用、両面印刷の推進 リサイクル可能な紙類の収集 シュレッダーの活用・雑がみの分別による一般廃棄物の低減			通年実行			俵
設計における環境配慮	設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修や講習に積極的に参加する			通年実行			山末
会社周辺の清掃	月に1回、全社員で清掃を行う			通年実行			戸川
地域活動への参加	外部からの依頼や要望、市が実施する環境保全に関する施策(イベント等)に協力・参加する			通年実行			鹿江

日常的に行っている活動

消火設備点検	消火器の使用方法・耐用年数の確認	佐伯
	熱感知器の確認	(株)セコム
フロン定期点検	空調・冷蔵庫等の点検	荒木
灯油の購入	適正な量を購入する・運用管理する	浅野
社員への周知徹底・意識改革	半期ごとにごみの排出量と車両燃費を掲示	EA21事務局
	一年分の活動実績を掲示	
	環境活動を促すポスター等を掲示	

5. **実施体制表と役割分担表**

実施体制表



役割分担表

担当		役割・責任・権限・使命
代表者	島 健二	全体の統括／環境方針の設定 全体の課題とチャンスの見直し・社員に周知させる
	環境管理責任者	山末 隆夫
EA21委員会	戸川 寛	年に2回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する
	児島 克典	社屋周辺美化活動管理者
	佐伯 博紹	購入電力管理者
	荒木 拓也	消火器点検者
	増田 繁	フロン定期点検管理者
EA21事務局	浅野 真佐美	水使用量管理者
	俵 理咲子	各種書類の作成・管理 社員への周知徹底・意識改革
	岩熊 玲奈	灯油運用管理者 一般廃棄物管理者 ガソリン使用量管理者

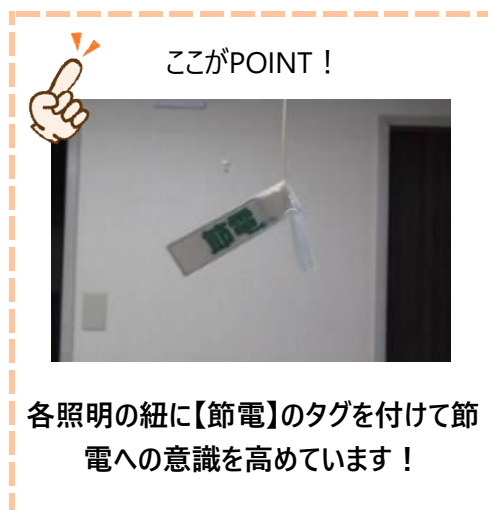
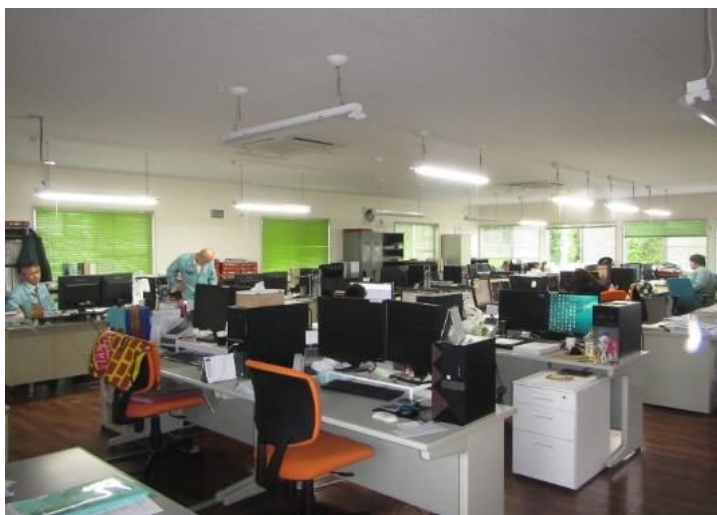
6. 環境活動状況

6-1. 社内の環境活動状況

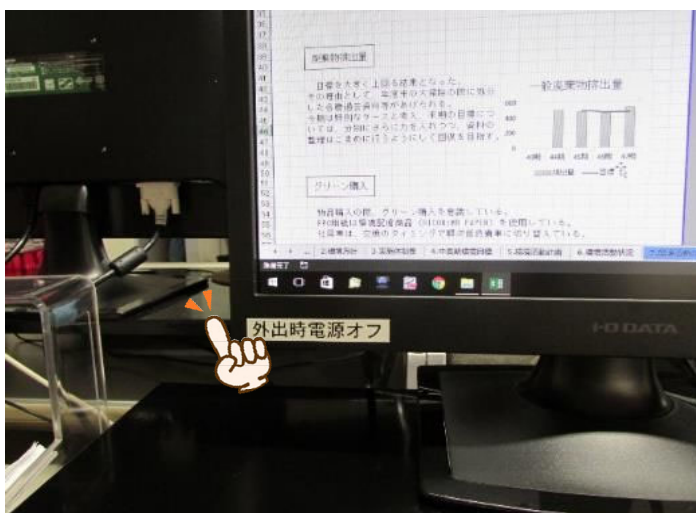
プルスイッチ型LED照明

社内で最も電力が必要とされる設計部の照明は、外出時等で不要な照明はこまめに消灯できるように配置しています。

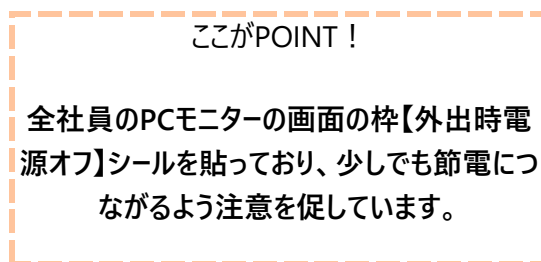
また、LED照明を採用しており、長寿命化にも配慮しています。



パソコンの電源



設計業務ではパソコンが必要不可欠であり業務の殆どがパソコン作業になります。そのため外出時や長時間パソコンを使用しないときは、こまめに電源を切るようにしています。



エアコンとサーキュレーター・扇風機

環境省が推進している空調使用時の室内温度【夏期28°C、冬期20°C】を遵守するようにしています。

また、サーキュレーターや扇風機を使い冷暖房の効率を上げています。

冷暖房に頼り過ぎないクールビズやウォームビズも実施しています。



空気清浄機・加湿器



新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、空気清浄機を導入しています。新型コロナウイルスのみならず、インフルエンザウイルス、また花粉やハウスダストも吸い取り、幾つものフィルターを通してきれいな空気に変えてくれます。



また、冬期は暖房効率を上げるため、加湿器を使用しています。室温が同じ20℃でも、湿度20%よりも湿度50%の部屋のほうが体感温度が上がると言われているので、温湿度計も社内に数箇所設置して、日々気を配るようにしています。

エコドライブ

社用車全てに右のようなシールを張っており、エコドライブを心がけるように注意を促しています。

環境省によると緩やかな発進を意識する事で、約10%程度燃費が改善されるそうです。また、車内の温度設定を外気と同じ25度に設定したままだと12%程度燃費が悪化するようです。

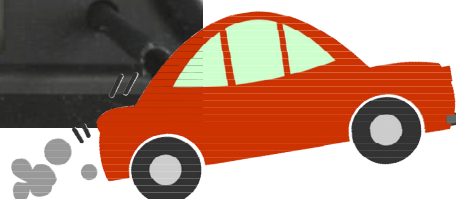
社員への教育や正確な燃費管理、定期的な点検なども行い、全員が安全でエコな運転ができるように活動しています。

参考：環境省「エコドライブ10のすすめ」



ここがPOINT！

社員へのエコドライブの呼びかけのため、社員の通用口である玄関に環境省の「エコドライブ10のすすめ」のポスターを掲示しています！



シュレッダーの導入



一階と二階に一台ずつ設置しており、主に個人情報保護を目的として使用しています。

シュレッダーで細断した紙くずも古紙として回収しているので、裏紙として使えない、半端なサイズのメモ用紙や作業中に出た紙の切れ端などもシュレッダーを使用して細断し、ごみの排出量の削減・リサイクルにつなげています。

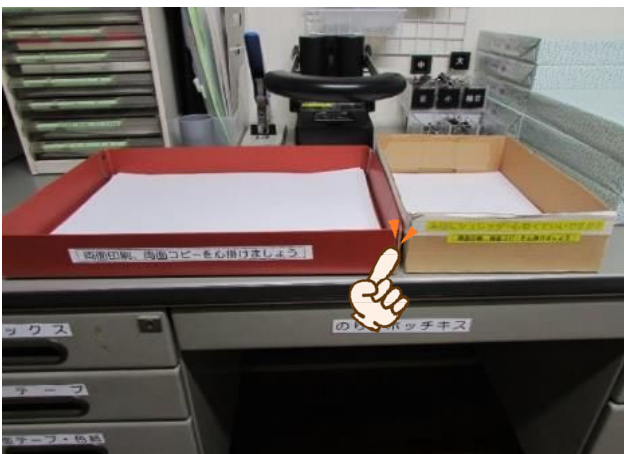


ここがPOINT！

設計業務上では個人情報や機密事項を取り扱うことが多いです。外部にもれないようにしっかりと分別することを心がけるよう、全社員に呼びかけています。



コピー機



使用済みの紙を集め、裏面印刷に用いています。ただし裏面が白紙であっても、穴が開いていたり、ステープルで綴ってあるものは複合機の都合で使用出来ません。なので、メモ用紙にしたり、シュレッダーで細断して古紙で回収するなど、ごみ排出量の削減・リサイクルに努めています。

集めた裏紙は裏紙専用のトレイに入れ、試し印刷などで使用しています。

また、両面印刷・両面コピーを推奨しており、資源の無駄遣いを無くすように呼びかけています。



グリーンカーテン

グリーンカーテンの効果として挙げられるのは、その周辺の景観的美化や夏場の日差し・室内の気温を和らげることです。

また、エアコンの冷房を同じ温度に設定しても、温度が高い部屋はその分だけ負荷がかかるため、電力を多く消費します。なので、グリーンカーテンはエアコンの消費電力をおさえるという省エネ効果もあります。



スナップエンドウ、ミニトマト、ゴーヤを育ててます

会社周辺の側溝清掃



会社周辺の側溝等の清掃を月に一度行っています。

側溝に溜まったヘドロや腐った落ち葉などを取り除くことにより、それらから発生する悪臭を防ぎます。また、台風や豪雨などの際、側溝に溜まった土などで道路が冠水してしまわないように定期的な清掃を行っています。



社内掲示：休憩室

半期毎のごみ排出量と各車両別の燃費を表とグラフにまとめ掲示しました。

全員の目に入るよう、社員が休憩する場に掲示しています。



ここがPOINT！

コメント欄には半期分の実績に対する評価を記載しており、下半期・来期に向けて今後どのような活動が必要であるのかを明記しています。



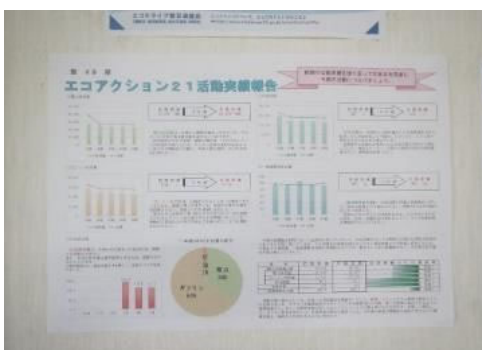
期間中に10年目を迎え、エコアクション21中央事務局より感謝状を頂きました。

これからの環境活動に対する社員全員のモチベーションを上げるためにも休憩室に掲示しています。

社内掲示：玄関

雑がみ回収を促進するポスターを掲示し、回収BOXを設置しています。

シュレッダーで処理しづらいメモ紙やたばこの空き箱・トイレトペーパーの芯などを中心に社内のあらゆる紙ごみを集めており、ごみ排出量の低減に大きく貢献しています。



一年間の活動とその結果を振り返り、次期の活動に生かせるように呼びかけています。

6. 環境活動状況

6-2. 地域の環境活動状況

外部からの苦情

今期の活動における外部からの環境に関する苦情等はありませんでした。

地域の環境活動イベント

当期間中、2件の地域イベントについて、参加できませんでした。

毎年参加している2件の地域イベントについて本年も参加予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、両イベントとも中止となりました。そのため本年の地域の環境活動は0%となります。

参加を予定していたイベントの活動内容を紹介

「耶馬の森林(もり)」植樹の集い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

「耶馬の森林(もり)」植樹の集いとは

大分県中津市耶馬溪ダム湖畔にて毎年行われており、北九州市の「水源地との交流事業」の一環。耶馬溪ダムと山国川から『水』の恩恵を受けているのは中津市～北九州市まで続く日豊線沿線の市町で約127万人。

「流域はひとつ」というスローガンのもと、命を育む水源を守り、豊潤な水をこの先も安定して供給し続けるため、山国川流域・耶馬溪町地元の方々と交流を深めつつ植樹活動をしています。



ラブアース・クリーンアップ2021

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



ラブアース・クリーンアップとは

平成4年5月に福岡市で開催された「ローマ・クラブ福岡会議イン九州」を契機に、この会議のテーマである“地球環境と地域行動”の実践活動として、市民・企業・行政が協力し、力を合わせて始めた地域環境美化活動で、SDGsの目標達成や、海洋プラスチックごみ対策にも貢献する活動です。



北九州SDGsクラブ

の会員です！



北九州SDGsクラブとは

まず、SDGsとは2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



Public Private ACTION for Partnership!!
～SDGsで日本を元気に、世界を元気にその主役はあなたです！～

～交流会の様子～



そして、北九州SDGsクラブとは、SDGsの達成に向けた産学官民による幅広い活動の推進のため、SDGsに関連する活動に取り組んでいる、または関心を持っている団体・企業・個人等が自由に参加できる場を提供し、会員同士の交流や情報交換を通じて、各々の活動の活性化を目指すことを目的とするクラブです。

クラブ創設からこれまで過去三回、交流会が行われました。現在はコロナウイルス拡大中のため、次回開催は未定となっています。



会社での取り組み

◎会社内のSDGs認知向上

まだ本クラブの会員歴が浅いこともあり、社員一同SDGsの事についてまだあまり詳しくありません。そこでまずは、社内でのSDGsの認知を高めて行きたいと思います。

◎SDGsに繋がる事はなにか

クラブHPにも大切な取り組みとして「いま行っている活動がSDGsに繋がるか考える」と記載されています。そこで、私達が今行っているエコアクションもSDGsに大きく繋がるのではないのでしょうか。これからもエコアクションに力を入れるとともに、他にも繋がる活動が無いか考えていきたいと思っています。

～会員缶バッジ～



打合せ時などに着用しています。



7. 環境関連法規などの遵守状況

遵守状況の確認

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、全て適合・遵守されていることを確認しました。

なお、環境法規等に関する違反・訴訟等もありません。

また、期間中に防火用設備等点検報告書を八幡西消防署に提出しました。

基本法令	適用対象	適用項	規制内容抜粋	具体例	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業系一般廃棄物	6条の2	許可を受けた一般廃棄物収集運搬業者及び一般廃棄物処分業者に委託しなければならない	北九州市の登録を受けている事業所に委託する	適合 ※1 (株)環境技術センターに委託している
		4条の4 「施行令」	一般廃棄物の運搬または処分、再生を業として行うことができる者、且つ、それらが事業の範囲に含まれるものに委託すること		
特定家庭用機器再商品化法	特定家庭用機器廃棄物	6条	事業者は、特定家庭用機器をなるべく長期間使用することにより排出を抑制するよう努める	エアコン、TV、冷蔵庫、洗濯機等	適合
			排出する場合は、収集運搬または再商品化等をする者に適切に引き渡し、その求めに応じ料金の支払に応じること	新しく購入した店舗に引き取ってもらう等	期間中対象物件無し
使用済自動車の再資源化等に関する法律	使用済自動車	8条	自動車の所有者は、当該自動車を使用済自動車となったときは引取業者に当該使用済自動車を引き渡さなければならない	都道府県知事又は保健所設置市市長の登録を受けている事業所に委託する	適合 期間中社用車1台を適切な業者に引き渡した
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	空調・冷蔵庫	5条	当該特定製品に使用されるフロン類の管理の適正化に努めるとともに、国及び地方公共団体が特定製品に使用されるフロン類の管理の適正化のために講ずる施策に協力しなければならない	第一種特定製品の定期点検を実施し、点検記録を作成、保存を行う	適合
		45条	当該引渡しを終了したことを当該引取証明書により確認し、かつ、当該引取証明書を受領した日から主務省令で定める期間保存しなければならない。	取引があった場合は引取証明書の写しを3年間保存する	四半期に一度点検を行い、記録を保存した
消防法	建物	3の3 17条の3	防火対象物の関係者は、その防火対象物に設置されている消火器具について、定期的に点検し、その結果を消防長又は消防署長に報告しなければならない。	消火器・火災報知器等の確認、定期的に点検報告書を提出	適合 点検を行った
北九州市環境基本条例	事業者	5条	事業活動に伴う環境への負荷をできる限り低減するために必要な措置をしなければならない	外出中はパソコンの電源を切る等	適合 随時、事業活動で取り組んでいる
			事業活動に係る物の使用又は廃棄による環境への負荷の低減に努めるとともに、再生資源その他の環境への負荷の低減に資する原材料、役務等を利用するように努めなければならない	金物や古紙等を回収業者に引き取ってもらう	
			市が実施する環境の保全に関する施策に協力する責務を有する	市が主催の環境に関するイベント	

※1 (株)環境技術センター 事業一般廃棄物収集運搬許可 北九州市許可番号：第164号

8. 環境活動の実績(環境経営目標の達成状況)

第52期の実績は以下の通りです。

活動期間： 2020年10月 ～ 2021年9月

項目	単位	基準年度	当年度		目標達成状況			
		45期	目標値 (△7%)	実績	達成率	判定		
削減目標	二酸化炭素排出量 (全二酸化炭素排出量)	kg-CO2	50,070	46,565	※1 42,371 (42,371)	110%	○	
	電力使用量	kwh	27,437	25,516	31,044	82%	△	
		kwh/日	102.40	96.3	117.1			
	ガソリン使用量	L	14,285	13,285	10,007	133%	○	
	平均燃費	km/L	16.74	※2 —	18.6			
	灯油購入量	L	—	※3 —	0	—		
	水使用量	m3	188	245	144	170%	○	
		m3/人	8.20	10.2	6.0			
	一般廃棄物排出量	kg	473.80	500.0	486.5	103%	○	
		kg/人	20.60	20.8	20.3			
プラス目標	設計における環境配慮	件	実績なし	研修・講習 に参加する	2	実施		
	フロン定期点検	4回/年	実績なし	—	10月 翌1,4,7月	実施		
	地域活動	会社周辺の 清掃	回/月	1	1	1	実施	
		地域の イベント	—	—	参加する	参加なし	参加予定のイベント2件が中止	

【目標達成状況での判定】

- 100%～ → 目標を達成している。
- △ 99%～80% → 目標の達成には及ばないが、経過観察の必要あり。
- × 80%未満 → 目標を達成できていない。是正処置が必要である。

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2013年度 調整後排出係数0.617kg-CO2/kWhを用いた。

※ 電力使用量の日割り計算は、平均的な稼働日数を使用している。

※1 ()内数値は運用管理している灯油を含む、全二酸化炭素排出量である。

※2 平均燃費に関しては、目標を立てず前期の実績値と比較して向上を図ることとする。

※3 灯油に関しては、運用管理しているため、目標は立てないこととする。

9. 環境活動の取組結果・評価

今期の環境活動の取組状況の確認・評価と次年度の取組内容について会議を行いました。

1) 評価者名	代表者	島 健二	
2) 出席者	環境管理責任者	山末 隆夫	
	EA21委員会	営業総務部	戸川 寛
		設計部	児島 克典/佐伯 博紹/荒木 拓也/増田 繁
	EA21事務局	設計部	浅野 真佐美/俵 理咲子/岩熊 玲奈
3) 提出した資料	・「環境への負荷の自己チェック」の結果 ・文書類		

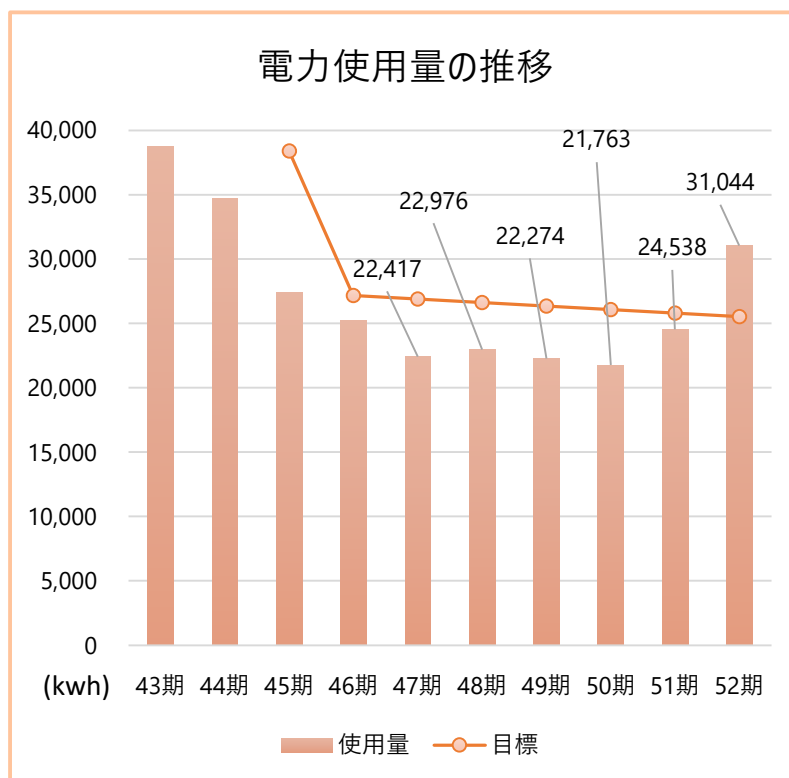
4) 各項目毎の評価と見直し, それを踏まえた次年度の取組内容

※目標の達成率は「環境活動の実績」を参照

電力使用量

《評価と見直し》

基準年度の使用量を少し超える数値となり、達成率は82%となった。
 理由としては新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、換気扇の常時運転、それによるエアコンに負荷のかかる稼働が挙げられる。
 今期中は社員の在宅勤務も多く、例年より出社人数が少ないにも関わらず、このような結果となったのは換気扇、エアコンの電力使用が多かったことにあると判断した。
 経過観察が必要である。



《次年度の取組内容》

前期下半期から徐々に増加してきた電力使用量は、今期夏場からより一層増え、ついに目標値を上回る結果となった。

削減のための取り組みとして一番効果的なのは換気扇の運転時間を減らすことであるが、そもそも電力使用量が増加した理由が上記で述べた感染対策によるものであるため、電力削減と感染対策のバランスを取り、どちらにも有効的な取り組みが必要となる。

今期末に空気清浄機を導入した。来期の数値に期待したい。

ガソリン使用量

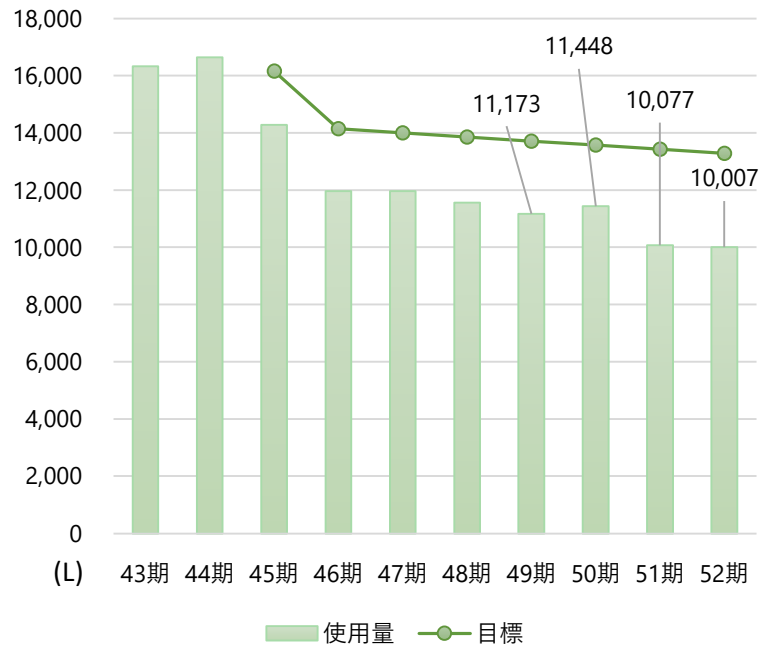
《評価と見直し》

昨年と同様に自粛期間中に在宅勤務を実施したこと、営業車の稼働が大幅に減ったことにより目標値を大きく下回る結果となった。今後は移動が増えることになりそうなのでより一層、環境に良い運転を心がけたい。

《次年度の取組内容》

次期においても、定期的なオイル交換・空気圧点検等の安全点検は継続して実施していくものとする。このほか、平均燃費向上を目指してエコドライブの周知徹底にも力を入れていきたい。

ガソリン使用量の推移



水使用量

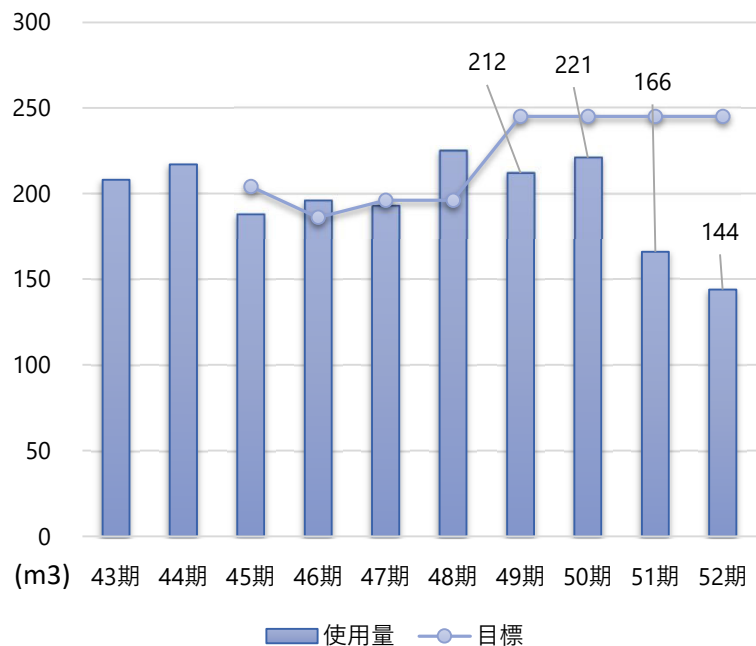
《評価と見直し》

例年と比べ一気に使用量を削減できた結果となった。理由としては、在宅勤務により出社人数が減ったことと、加湿器の使用頻度が減ったことが考えられる。

《次年度の取組内容》

引き続き、水道メーター・水回りの確認を行い、水漏れなどを未然に防げるように注意していきたい。また自粛期間も終わり使用頻度は増えていくと思われる。今後も節水の周知徹底を実施し、全社員の節水意識向上を図っていく。

水使用量の推移



一般廃棄物排出量

《評価と見直し》

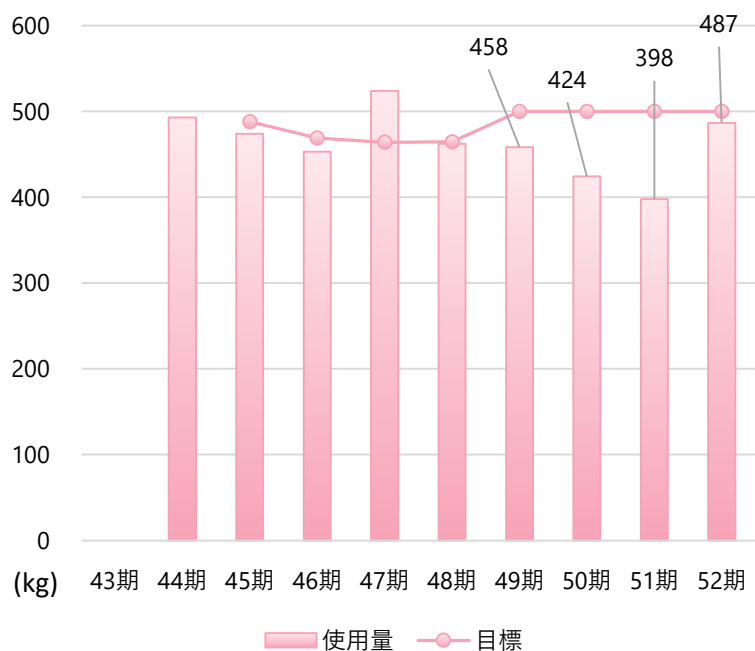
近年減少傾向にあったごみ排出量だが、今期は前期から約88kg増加した。原因は前期から予想していた手洗い場に設置した紙ゴミによるものであると思われる。

また昼食をテイクアウトする社員も増えお弁当殻が増えたことも一因と考えられる。

《次年度の取組内容》

昨年度から実施している感染対策による影響で今期は目標ギリギリの結果となった。リサイクルできるものと分別するなど、対策をとっていききたい。

一般廃棄物排出量の推移



その他の活動

- ・ 月に一度の社屋の周辺清掃やフロン定期点検を行った。
- ・ 今期は海岸清掃や植林活動への参加が叶わなかったが、来期も積極的に参加していききたい。
- ・ 前半期の記録等を表とグラフにまとめた紙面を掲示するなどの周知徹底・意識改革を目的とした教育訓練も行った。
- ・ 設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修・講習に積極的に参加した。今期はオンライン講習会が主であったため、マイクやカメラ等設備を整えた。今期は講習自体が少なかったため参加件数が少ないが、今後も積極的に参加していききたい。



社屋の周辺清掃



玄関前掲示(ポスター等)

5) まとめ

《評価と見直し》

1) 環境経営計画を実行できたか

今期も環境経営計画を実行できた。

これまで行ってきた社員への周知も行き渡り、社員全員が意識して活動に取り組む姿勢が見られた。また、これを続けて環境・経営に貢献していきたい。

2) 実績値について

今期の実績値について、良くも悪くもすべての項目に新型コロナウイルスの感染症対策による影響が見られた。

特に注目すべきは電力使用量である。**前期に比べ約30%増加**している。原因は換気扇の常時運転とそれによるエアコンに負荷のかかる稼働が考えられる。感染対策と電力削減のバランスを取り、良い職場環境を作りたい。今期末には空気清浄機を導入した。来期はこれによる効果に期待したい。

ガソリン使用量は前期とほぼ変わらず、原因も前期同様**移動が減ったことによる削減**と見られる。自粛期間も終わり段々と移動も増えていく中、改めてエコドライブを心がけてもらうよう社員に周知を行う。

水使用量については**前期に比べ約13%の削減に成功**した。自粛期間による出社人数の減少が原因と見られるため、節水意識が緩まないように社員へ周知しておく。

ごみ排出量については**前期に比べ約22%増加**した結果となった。手洗い場の紙ゴミ、弁当殻などの増加によるものである。リサイクルできるものの分別を掲示し少しでもごみを減らせるように活動したい。

《次年度の取組内容》

次年度の取り組みとしては、電力削減に力を入れて取り組んでいきたい。具体的には冷暖房の効率化による電力削減と、空気清浄機による換気扇稼働の削減、また社員一人ひとりがこまめな節電に取り組めるような環境づくりを徹底したいと思う。また、ごみ排出量の削減についても、もう一度ごみの分別を見直し、リサイクルできるもの、古紙で回収できるもの等を調べ、それを社員に周知するためポスターを掲示したりなど、改めて活動を見直して少しでも改善できるように取り組んでいきたい。

社外活動においても、近年は殆どがオンライン講習になったため、対応できるよう設備を整えた。地域の環境活動は人が多く集まるのでなかなか開催できないイベントが多かった。来期は講習や地域の環境活動にも積極的に参加していきたい。

今期は感染症対策の影響が大きく見られたが、今の状況でどうすれば例年通り活動できるかを模索し、新しいやり方で環境活動に取り組んでいきたい。

以上の取組内容を踏まえ次頁に来期の環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画を添付する。

10. 次年度の環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画

10-1. 次年度の環境経営方針

環境経営理念

社会・環境貢献活動に積極的に取り組み、環境に与える影響を低減し、

自然環境との共存を計れるよう活動します。

環境経営方針

重点事項について環境目標・計画を策定するとともにこれらを見直して

環境経営システムの継続的改善を図ります。

- 二酸化炭素排出量の削減に努める。
 - ・ 電力使用量の削減を行う
 - ・ 化石燃料(ガソリン)使用量の削減を行う
- 水使用量の削減に努める。
- 一般廃棄物の削減・再利用・再資源化に努める。
- 設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手し、技術向上に努める。
- 環境関連法規を遵守する。
- 地域の環境活動に積極的に参加する。
- 環境への取り組みを全社員に周知すると共に、広く公開する。

改定日：2018年 8月 1日

株式会社 吾水総合コンサルタント

代表取締役

鳥 健 二

10. 次年度の環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画

10-2. 次年度及び中長期環境経営目標

環境目標	単位	基準年度	次年度	中 期			
		45 期 2013/10～ 2014/9	53期 2021/10～ 2022/9	54 期 2022/10～ 2023/9	55 期 2023/10～ 2024/9	56 期 2024/10～ 2025/9	
		—	(△8%)	(△9%)	(△10%)	(△11%)	
削減 目標	二酸化炭素排出量	kg-CO2	50,070	46,064	45,564	45,063	44,562
	電力使用量	kwh	27,437	25,242	24,968	24,693	24,419
	ガソリン使用量	L	14,285	13,142	12,999	12,857	12,714
	灯油購入量	L	—	※1 —	—	—	—
	水使用量	m3	188	245以下	245以下	245以下	245以下
	一般廃棄物排出量	kg	474	500以下	500以下	500以下	500以下
プ ラ ス 目 標	設計における 環境配慮	—	環境効果の高い資材や工法の情報収集のための研修・講習に積極的に参加する。				
	会社周辺の清掃	1回/月	月に1回、社屋の周辺清掃を行う。				
	地域活動への参加	—	海辺の清掃や植樹など、地域活動に参加する。				

※ 事業年度：10月1日～翌年9月30日

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2013年度 調整後排出係数0.617kg-CO2/kWhを用いた。

※1 灯油使用量に関しては、運用管理しているため、目標はたてないこととする。

10. 次年度の環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画

10-3. 次年度の環境経営計画

第53期

環境経営計画

定期的な評価(上半期/全期間)

取組目標	活動内容	活動計画				担当
		10~12	1~3	4~6	7~9	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量		エアコン使用時 常時実行			児島
	エアコン設定温度					
	扇風機・サーキュレーターの活用による冷暖房の効率化					
	LED照明への随時取り替え		随時導入			
	不要な照明の消灯					
	不要電力消費抑制 (未使用時のプリンター、外出時のPC)		通年実行			
ガソリン使用量	エコドライブの励行					岩熊
	・アイドリングストップ					
	・急発進、急停車の防止等		通年実行			
	・ルート・配車計画の合理化					
水使用量の削減	エコカーへの随時入れ替え		随時導入			増田
	定期的な安全点検		通年実行			
	水を流したままにしない		通年実行			
一般廃棄物排出量の削減	節水型便器の設置		随時導入			俵
	電子機械の利用によるペーパーレス化					
	裏紙利用、両面印刷の推進					
	リサイクル可能な紙類の収集		通年実行			
設計における環境配慮	シュレッダーの活用・雑がみの分別による一般廃棄物の低減					山末
	設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修や講習に積極的に参加する		通年実行			
会社周辺の清掃	月に1回、全社員で清掃を行う		通年実行			戸川
地域活動への参加	外部からの依頼や要望、市が実施する環境保全に関する施策(イベント等)に協力・参加する		通年実行			鹿江

日常的に行っている活動

消火設備点検	消火器の使用方法・耐用年数の確認	佐伯
	熱感知器の確認	(株)セコム
フロン定期点検	空調・冷蔵庫等の点検	荒木
灯油の購入	適正な量を購入する・運用管理する	浅野
社員への周知徹底・意識改革	半期ごとにごみの排出量と車両燃費を掲示	EA21事務局
	一年分の活動実績を掲示	
	環境活動を促すポスター等を掲示	

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

○：できている
△：よりよい改善を望める
×：改善が必要

環境経営システムが有効に機能しているか 総評： ○

1	PDCAサイクルはうまく回っているか	評価： ○
2	実施体制がきちんと機能しているか	評価： ○
3	目標の立て方は適切か	評価： ○
4	環境上の緊急事態への準備及び対応ができているか	評価： ○
5	取り組みの結果を適当に評価し、次に繋げているか	評価： ○
6	全員で取り組んでいるか	評価： ○

環境への取り組みは適切に実施されているか 総評： ○

1	環境経営方針で誓約したことが実行されているか	評価： ○
2	教育・周知徹底は適切に実施されているか	評価： ○
3	環境経営目標は適切か、環境経営計画は適切に実施されたか	評価： ○
4	取組の評価結果が次の行動に反映されているか	評価： ○
5	是正処置は適切に実施されたか	評価： ○
6	前回の指示事項は実行されたか	評価： ○
7	全員の協力が得られているか	評価： ○

見直しと指示事項	電気・一般排出量の増加については、換気・空調、昼食の外出自粛等の結果であった。
	一方で水使用量の大幅の減少はとても高く評価したい。今後も節水に努めるよう指示した。
	今期も方針・目標・計画・実施体制（環境経営システム）が有効に機能していると言える。

総論	前年同様にコロナ禍の状況であり、環境への配慮を怠った訳ではないが、社員の安心安全を
	優先した結果ととらえている。全体としては満足のいく結果であった。
	今後もさらなる事業の発展を目指し、環境への意識向上、環境活動の発展・継続を推進する。

2021年 11月 14日

株式会社 吾水総合コンサルタント

代表取締役

鳥 健 二



株式会社 吾水総合コンサルタント

代表取締役社長 島 健二
環境管理責任者 山末 隆夫

〒806-0065

福岡県北九州市八幡西区養福寺町7番9号

TEL : 093-621-3366

FAX : 093-621-5110